



ACS1 AMPLIFIER + CAB SIMULATOR INSTRUCTION MANUAL

ACS1は、ワールドクラスのアンプのサウンドと感触、秀逸のスピーカーキャビネット、さらに制御可能な部屋のサイズを提供するアンプ&スピーカーキャビネットシミュレーターです。ACS1を使えば、ステージ、スタジオ、また自宅での練習などいづれであっても、それらのトーンを提供するための幅広いオプションを利用できます。

シンプルなコントロール、ステレオインとステレオアウト、オンボードプリセット、MIDIサポートにより、ACS1はギタリストの武器として計り知れないツールとなっています。



*Walrus Audioエフェクターの電源は、アイソレーテッドパワーサプライの仕様を推奨します。デジチェーン式のパワーサプライは推奨致しません。

CONTROLS

Bass - Bassツマミでは、選択したアンプモデルの低域の調節をします。このツマミで厚い音にしたり、こもってしまう低音をコントロールしたりします。

Mid - Midツマミでは、選択したアンプモデルの中域の調節をします。パンチの効いた生のミッドレンジトーンの場合は12時の位置より右で、よりクラシックなスクープサウンドの場合は12時の位置より左でこのコントロールを試してください。

Treb - Trebツマミでは、選択したアンプモデルの高域の調節をします。きらめき感を出すには上げ、高音域が暴れてしまう場合には下げて調節してください。

これらのツマミはアンプモデルごとに異なり、各ツマミの12時の位置が出発点として適しているように設計されています。

Vol - Volツマミでは、ペダルの全体的な出力レベルを調節します。また、ヘッドホン出力の音量も調節します。

Gain - Gainツマミでは、各モデル内のアンプの「回路」を介したゲインの量を調節します。ゲインとキャラクターの変化の関係は、アンプモデルごとに異なります。Gainツマミも実際のアンプと同じように全体のボリュームに影響を与えるため、ゲイン設定を低くしてボリュームツマミを大きくすることをお勧めします。

Room - Roomツマミでは、さまざまなサイズの部屋でアンプがマイクにかけられているような印象を与えるためのタイトなルームリバーブを調節します。

A | B | C Cabスイッチ - Cabスイッチを使用すると、選択したアンプモデルに付随する6つのオンボードキャビネットインパルスレスポンス (IR) から1つを選択できます。ACS1には、アンプモデルを補完するためにWalrusチームが慎重にキャプチャした6つのcab IRが付属しています。ユーザーは、walrusaudio.ioを介して自分のお気に入りのIRをACS1にアップロードすることもできます。

キャビネットは「FRONT」、「BACK」の2つのグループ (各3個) に分けられます。「FRONT」の3個には、トグルスイッチを目的の位置に移動するだけでアクセスできます。「BACK」へはBypassスイッチを押し続けBypass LEDが点滅した状態でCABトグルを動かした時に「BACK」の3個にアクセスできます。「BACK」Cabを選択した後、Bypassスイッチを離れた (Bypass LED点灯) 状態でトグルスイッチを動かした場合は「FRONT」での選択になります。)

Front Cabs

- A: Walrus Custom Fender® Deluxe Style
- B: Walrus Custom Marshall® 4x12 Style
- C: Walrus Custom Vox® Green Back Style

Back Cabs

- A: Walrus Custom Fender® Super Reverb Style
- B: Walrus Custom Two Rock® Style
- C: Walrus Custom Vox® Blue Back Style

CONTROLS

L + Rスイッチ - L + Rスイッチは、コントロールが影響を与えるチャンネルを選択するため、重要なコントロールです。左右両方のチャンネルで同じ音で設定するには、このスイッチを「+」の位置に設定します。コントロールに加えられた変更は、両方のチャンネル間でそのパラメーターを同期します。アンプを選択すると、両側に適用されます。

スイッチ位置「L」と「R」を使用して、左右のチャンネルで異なるアンプサウンドを作成することができます。スイッチを「L」の位置に設定し、コントロールを使用して左チャンネルに必要なサウンドを設定します。同様に、スイッチを「R」の位置に設定し、コントロールを使用して、右チャンネルに必要なサウンドを設定します。この作業は、チャンネルごとに異なるキャブを選択することから、左側と右側でまったく異なるアンプとキャブの組み合わせを設定することなどに使用できます。

※ROOMツマミはLR共通のツマミになります。

左右のチャンネルでユニークなサウンドを作成するときは、ボリュームノブを使用して各アンプの全体的なレベルのバランスを取ります。

Ampスイッチ (Fullerton | London | Dartford) - Ampスイッチは、ACSI1に組み込まれている3つのクラシカルアンプモデルのいずれかを選択します。各アンプモデルの回路は、可能な限りの感触と特徴をもたらすように細心の注意を払ってモデル化されました。

Fullerton: クラシカルで明るくクリアなFender®DeluxeReverbからインスピレーションを得ています。プレイヤーが長年にわたって愛するようになったヘッドルームの負荷を備えた鮮明でクリーンなトーン。

London: ハーモニックでリッチな真空管サウンドをもった1962年のMarshall®Bluesbreaker1にインスパイアされました。明確で繊細なレスポンス。

Dartford: 1960年代のVox®AC30の伝説的なジャングリーなハイエンドトーンにインスパイアされました。プリティッシュ・インヴェイジョンの象徴的な中域に厚みのあるトーン。

Bypassスイッチ - ペダルのオン、オフを切り替えます。

BypassLED - ペダルがオン/オフを点灯/消灯によって示します。

Boostスイッチ - ブーストスイッチをオンにすると、設定されたプリセットのボリュームやゲインブーストが適用されます。ブースト量を設定するには、ブーストスイッチを押します。LEDライトが点滅し、ブーストがオンになっていることを示します。ボリュームとゲインのノブを使用して、ブーストレベルを設定します。ブーストスイッチをもう一度押して、設定を確認します。ブーストスイッチを解除すると、次にブーストスイッチをオンにしたときにペダルがプリセットのブースト設定を記憶します。

Preset/Boost LED - プリセットLEDは、選択したプリセットの色(赤、緑、または青)を点灯します。ノブを回すと、このLEDが紫色に変わり、プリセットが変更されたことを示します。そのノブが保存位置を超えると、LEDは現在選択されているプリセットの色に戻り、最後に保存された位置を知らせます。これは、プリセットのパラメーターを微調整したいが、ノブが最後に保存された場所を思い出せない場合に役立ちます。

CONTROLS

ギターの入力と出力 - ACSI1は、複数の入力と出力の構成を提供し、トゥルーバイパス回路を備えています。

- Mono In / Mono Out
- Mono In / Stereo Out
- Stereo In / Stereo Out

Headphoneジャック - ACSI1は、静かな環境でも練習できるヘッドホン出力を備えています。ヘッドホンを接続し、音量つまみを調整するだけで、ヘッドホンの音量を上げ下げできます。

USB-walrusaudio.ioを介してコンピューター経由でIRファイルをロードし、ファームウェアを更新するために使用されます。

PRESETS

ACSI1には、合計128のプリセットスロットが含まれています。最初の3つのプリセットは、両方のストンプスイッチを使用してペダルからアクセスできます。すべて、MIDIセクションで概説されているMIDIプログラム変更メッセージを介してアクセスできます。

- プリセットを呼び出すには：両方のストンプスイッチを同時に押し、3つのオンボードプリセット(赤、緑、青)をスクロールしてから赤に戻します。

1. 新しいサウンドを保存するプリセットに移動します。
2. ツマミとスイッチを使用して、目的のサウンドをダイヤルします。プリセットLEDが紫色に変わり、プリセットが変更されたことを示します。
3. 保存するには、LEDの点滅が止まるまでバイパススイッチとタップスイッチを押し続けます。プリセットが保存されました。

ACSI1は標準のMIDIメッセージを介して制御できます。MIDIコントローラーをACSI1のMIDI「IN」に接続するだけです。ダウンストリームのMIDIデバイスはMIDI「THRU」に接続できます。これにより、すべてのMIDIメッセージを他のMIDIデバイスに送ることができます。ACSI1にはデフォルトでMIDIチャンネルが1に設定された状態で出荷されます。

MIDIデバイスチャンネルを割り当てるには：

1. 電源投入時に両方のストンプスイッチを押し続け、LEDが白く点滅し始めたら離します。
2. 次に、ペダルの目的のMIDIチャンネルでMIDIプログラムチェンジメッセージを送信します。
3. LEDが一瞬緑色に点滅し、ペダルはそのMIDIチャンネルを保存し、ユーザーが再度変更するまでそのチャンネルのメッセージにのみ応答します。
 - o MIDI In - アップストリームのMIDIデバイスまたはMIDIコントローラーをACSI1MIDI「IN」に接続します。
 - o MIDI Thru - ダウンストリームのMIDIデバイスをACSI1 MIDI「THRU」に接続します。
 - o MIDI PC - ACSI1のプリセットは、MIDIプログラム変更メッセージを介して呼び出すことができます。

ACSI1 MIDIチャンネルで呼び出す希望のプリセットに対応するプログラム変更メッセージを送信するだけです。ACSI1プリセットのリストと、それらがプログラム変更メッセージにどのようにマップされるかについては、次のページの表を参照してください。

MIDI

PRESET	MIDI PROGRAM CHANGE (PC)
Red	0
Green	1
Blue	2
Accessible via MID	3-127

o MIDI CC - ACS1のほとんどのパラメーターは、MIDI CCメッセージを介して制御できます。以下のリストは、該当するすべてのMIDI CC番号とそれに関連するパラメーターおよび制御値を示しています。

PARAMETER	MIDI CC #	MIDI CC Value
Bass	3	0-127
Mid	14	0-127
Treb	15	0-127
Vol	20	0-127
Gain	21	0-127
Room	22	0-127
Cab Switch	27	Front A: 0-20, B: 22-42, C: 44-64 Back A: 66-86, B: 88-108, C: 110-127
L+R Switch	28	Left: 0-42, Middle: 43-85, Right: 86-127
Amp Switch	29	Fullerton: 0-42, London: 43-85, Dartford: 86-127
Bypass Switch	30	Bypass = 0, Engaged = 127
Boost Switch	31	Bypass = 0, Engaged = 127

WALRUSAUDIO.IO

Walrusaudio.ioは、ペダルのファームウェアを更新し、独自のキャビネットIRをロードするためのシンプルなインターフェースです。パソコンに接続するには、マイクロUSB同期ケーブルが必要です。一部のマイクロUSBケーブルは、デバイスの充電専用に設計されています。コンピューターがペダルを認識できるかどうかを確認してください。

独自のスピーカーIRをアップロードするには

パソコンでGoogle CHROMEブラウザーを使用し<https://walrusaudio.io/devices>を開き登録完了し、ログインします。

1. USBケーブルをACS1に接続し、ペダルの電源を入れます。
2. ACS1ペダルの画像をクリックします。
3. IR Manager をクリックします。
4. 変更するスロットを見つけて、[edit]をクリックします。
5. [Choose IR file]をクリックして、お持ちのIRをアップロードします。

ACS1は24-bit 48kHz.wavIRファイルを受け入れることに注意してください。

*注: walrusaudio.ioのすべての機能を使用するには、Google Chromeを実行しているデスクトップコンピュータを介して接続する必要があります。モバイルデバイスは、同期および更新機能を提供しません。



UPDATES

ACS1の新機能やアップデートがある場合があります。これらは、walrusaudio.ioを通じて利用可能になります。以下のコードをスキャンして、ファームウェアの更新がいつ利用可能になるかを最初に確認してください。



GLOBAL PREFERENCES

工場出荷時設定へのリセット-次の手順を使用して、ペダルを工場出荷時の設定に戻します。

- 1.電源を入れている間、両方のストップスイッチを押し続けます。
- 2.両方のストップスイッチを10秒以上押し続けます。
10秒以上経過したら、両方のストップスイッチを放すと、ペダルがリセットされます。